

題

サクラのしとしと

人が私の前を通りすぎます

私を囲んでわいわいしてません

ニュース 去年までこの時期は

私の開花に

みんな注目

なのに今年はコロナばかり

咲くよ 満開だよ

何度も

呼びかけてるのに

もうすぐ

散っちゃうよ



題 ぼくはフブラゼミ

ぼくはフブラゼミ

七年もエの中にいたのに

地上では少ししか生きられない

ぼくのサマタは青穴エ高く飛ぶ
ことだ

そして生きている間

おもいフキソ大きなエエで

鳴いてやるぞ!!

ぼくの生きていた証が

ぬけがらだ



題 めぐみのつば

そらを どんどん

くもらせて

あめを しとしと

ふらせましよう

むすうの あまつば

ちにおとし

くさきに めぐみを

あたえましよう

ときには ゆきにも

ばけてみて

こどもに たのしみ

あたえましよう

題 太陽の一日 たいようゆうき

ぼくはまいにちがんばっている
にほんだけじゃなく
せかいじゅうに光と暖かさをとどけている
いつもあさ
みんなをおこしているのはぼくでもある
みんなにゆうきをあたえているのも
ぼくだ

そとであそぶひとをきくとふやしたい
そういうたねがいごとくばいいな
いつもそうおもっている

そのためにはぼくもがんばらないと



題 わたしね

しろつめくさののか

わたしね、ざっそうなの
なにもないふうに
ふみつけられて

まいにち

いたい、いたい、て

いているの

だから、かぜがつかたいの

わたしね、しろいの

おんなのこがわたしをつんで

かんむりをつくるの

きれい、ていうの

だから、かぜがあたたかいの

だから、きょうもかぜにふかれるの



題

とどける

あつき、たいよう

ぼくはがんばっている

いつもやすみなく

がんばっている

せかいじゅうのいきもの

そして

きみをまもるために

ぼくはとどける

これからおもいをこめて

とどける

このあついおもいを

そして

ぬくもりをかんじてもらうために